

教育 広報

いわき

編集責任者
福島県教育庁
いわき教育事務所
発行責任者
大竹 孝喜

顧みれば・・・。

いわき教育事務所長 大竹 孝喜



Aくんは、はじめて担任をしたクラスの生徒でした。元気が有り余る生徒でしたが、素直で正直な子どもだったと記憶しています。中学1年の理科の授業で節足動物の勉強をしていた際、数名の生徒にアリの絵を黒板に描かせました。Aくんだけ、頭部、胸部、腹部、そして胸部から三対の足が出ている絵を描くことができました。当時、担任だった私は「Aくん、すごいね。よく見ているよね。」と級友の前で褒め、黒板に◎をつけました。そのことがすごく嬉しかったと、上手くいかなかった高校受験の後、Aくんが私に話をしてくれました。授業のことは何となく覚えていましたが、「勉強で褒められるような機会が少なかったのかな。」「何気なく発した言葉が生徒の記憶に残るのかな。」そんなことをぼんやり考えていたのを覚えています。思春期ともなると、表面上の褒め言葉は逆効果となることもあります。その子が本当に頑張ったことや努力した時の声かけが、生徒の心を確かに動かします。

言うまでもなく、気持ちのない言葉は上滑りしてしまいます。教師になって今日まで、自分は生徒の琴線に触れる声かけや関わりがどれだけできていたのだろうと考えてしまいます。

いわきから転勤する時に渡されたBさん（当時は高校生）の手紙にはこんな事が書いてありました。「・・・現在の先生がどうっていうわけではなく、生徒として。矛盾している先生にはなりません。たとえ大切なことを言っても、その人の言動が矛盾していれば、その人の話には、耳を傾けません。その人に対する文句のことしか考えません。生徒は先生に厳しいのです。すごく。」中学校に在学していた当時、クラスで大きな問題があり、3年生の学級経営に苦慮していた私ですが、Bさんをはじめ生徒達に助けられました。

いわきでスタートした教師生活、生徒の言葉と行動が、心に残る学びとなり、それが今も、励みになっていることを懐かしく顧みる今日この頃です。

県立高校統合

令和7年度

新・「いわき総合高校」

キャリア指導推進校

新しい学校が誕生します!

令和8年度

「いわき商業情報高校」

職業教育推進校



いわき総合高校・好間高校



平商業高校・四倉高校

～県の事業実践紹介～

※ [いわき教育事務所のホームページもご覧ください。](https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70710a/)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70710a/>

～地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育支援者育成事業いわき地区研修～

地域の家庭教育支援者の実践力を高めるとともに、新たに家庭教育支援者に関心をもつ方の研修の場とすることを目的として、家庭教育支援者地区別研修を実施しています。

今年度は、「コミュニケーションスキルを高めよう」と題し、親業訓練シニアインストラクター大屋弘子氏を講師に迎え、コミュニケーションの取り方について学ぶ研修の機会を設けました。

公民館職員や地域支援者の皆様、地域家庭教育推進ブロック会議委員の皆様、学校保護者の皆様に参加していただき、より具体的な場面でのコミュニケーションのあり方を楽しく体験することができました。



【特別支援教育】地域支援体制整備事業

「チーム戦略・連携会議」を実施し「相談・研修支援」等に取り組んでいます。会議をとおり、子どもたちが“こうすればできる”と自信をもって学び生活するために、本人・保護者、学校を支える「支援ガイド」等を作成しました。ホームページからダウンロードしてぜひご活用ください。



栄養教諭「食育」推進研修会【いわき地区】

小名浜第一小学校を会場に「バランスのよい食事/学級活動(2)」の研究授業と、いわき地区6名の栄養教諭による協議等が行われました。児童はタブレット端末等のICTや「自分手帳」を活用し、協議では発達段階に応じた授業づくりやT2の役割等について活発な意見交換がなされました。



【ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業に係る授業公開】 ～～小中高連携に向けて～

今年度からの3年間の事業で、推進リーダー配置校2校で授業公開を持ち回りで開催し、小中接続期における学びの過程を意識した授業の充実と、小中連携の一層の推進を目指しています。今年度は草野小学校、中央台北小学校で授業公開を開催し、小・中・高と校種を越えて、たくさんの先生方が御参加くださいました。どちらの学校においても、「目的・場面・状況」「中間指導」を意識しながら、T1とT2の役割を明確にしたALTとの効果的なTTの授業を提供して下さり、参考になったとの声、多数でした。

来年度も小中高連携を、なお一層推進していきたいと思っております。



「自ら動き出す学び」 ～道徳教育研究推進校の取組を紹介します～

今年度は、道徳教育推進校として中央台東小学校に研究を進めていただきました。道徳科の授業と、日々の全教育活動を通じた道徳教育を一つのサイクルとして意識した、研究が行われました。「気づき、考え、行動する児童」を育みたいという先生方の強い願いが、別葉の工夫・効果的な掲示物・地域人材や家庭の協力を生かした授業・発問や問い返しのスキルアップ等の実践につながりました。



11月に行われた授業公開では4・6年生の授業公開、協議会、十文字学園女子大学教授の浅見哲也先生による講演会を実施しました。相双・いわき地区合同開催で北は新地町、南は勿来地区から約60名の先生方が参加し、中央台東小学校の深い実践と浅見先生の心温まる講演で多くのことを感じ、学ぶ機会となりました。詳しくは、各校に配付される「令和6年度道徳の礎」をぜひご覧ください。

居場所づくりとして、できることを ～SSR設置校の実践と校内教育支援センター担当者研修会から～

「大勢がいる教室はちょっと入りにくい」「自宅から、まずは学校のどこか一室になら行けそう」「気持ちを落ち着かせるために利用したい」・・・スペシャルサポートルーム（と、それに準ずる別室）利用を望む子どもたちの声です。何とかその声に応えたいと、今年度のSSR設置校や研修会に参加した延べ20校を超える小・中学校の先生方同士で、多くの実践例や工夫点について、情報交換をすることができました。



校内の限られた人員の中で、誰か一人に任せるのではなく、学校組織としての支援体制や共通理解が不可欠であること、小・中の連携、保護者や当事者の声を丁寧に聴くこと、個別最適化を意識した授業改善、学級づくりの要である担任の役割など、具体的なポイントについて共有しました。すべての子どもたちのための居場所としての学校づくりを目指し、令和7年度も同様の研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。

イノベーション人材育成事業【算数・数学】

イノベ推進教員による授業公開を泉北小、泉中において4回実施しました。児童生徒の資質・能力を育むため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ったり、ICTを効果的に活用したりと、授業の質的改善に資する授業を展開しました。今年度は高等学校の先生方にも参加いただいたため、全体会では校種を越えた活発な協議が行われました。

算数・数学ジュニアオリンピックには、105名の小中学生が参加しました。解決の糸口を見出そうと

思考を巡らせ、数の世界の楽しさを味わいました。



イノベーション人材育成事業【理科】



理科イノベ推進教員が在籍する勿来一小と植田中で、理科授業力アップ研修会を行いました。

勿来一小では、4年生「物の体積と温度」、植田中では、1年生「光の世界」の単元で、それぞれ公開授業を行い、約20名が参観しました。参観した先生方からは、「その視点があったのか」

「早速クラスの子どもに働きかけたい」など、研究協議でも、目を輝かせて話し込む姿が見られました。



各種表彰、おめでとうございます

- ◆福島県教育・文化関係表彰
 - 学校教育功労者表彰
 - 平第一小学校 校長 大内 克之
 - 功績顕著な社会教育関係団体・施設表彰
 - 豊間小学校父母と先生の会
 - 公立学校永年勤続者 85名
 - 特別功績者表彰 「優秀教職員」
 - 平第三小学校 主幹教諭 野辺田 真実
 - いわき総合高等学校 教諭 伊藤 沙緒里
- ◆福島県教職員研究論文表彰
 - 特選 中央台東小学校
 - 教諭 久保木 壮平
- ◆文部科学大臣優秀教職員表彰
 - 「優秀教職員」
 - 平工業高等学校
 - 実習教諭 大塚 秋典
 - 勿来高等学校
 - 教諭 児玉 光彦
 - 「若手奨励賞」
 - いわき翠の杜高等学校
 - 養護教諭 渡辺 瑞希
- ◆食育・給食関係表彰
 - 学校給食優良団体・功労者表彰
 - 三和小学校 主任栄養技師 澤村 美和
- ふくしまっ子ごはんコンテスト
 - ・学校賞 好間第四小学校、平第一中学校
中央台南中学校、草野中学校
内郷第三中学校

総務担当より

住居手当について

住居を借りて、月額9,500円以上の家賃を払っている職員に支給されます。
 支給対象となる職員についてもう少し詳しく説明すると、①自ら居住するための住宅を借りて居住している職員、②単身赴任手当を支給される職員で、配偶者又は単身赴任手当の支給要件に係る子が居住するための住宅を借りている職員です。
 なお、共同して借り受けている場合は、誰と共同して借り受けているかによって手当の算出基礎となる家賃相当額が変わります。状況によって一概に言えないところもありますが、一般的には、①職員が主として生計を維持する者で、配偶者又は一親等の血族若しくは親族である者(以下、「配偶者等」という。)と共同で借り受ける場合は全額、②配偶者等以外の者である場合は家賃相当額を借受人の数で除し得られた額です。
 上記以外にも、契約した際に契約金や家賃の割引サービス(値引き)が適用された場合、値引き額を除くことになります。
 最後に、「事実発生日の属する月の翌月」(事実発生日が月の初日の場合は事実発生日の属する月)から手当の支給を受けるには、住居届は事実の発生日から15日以内、添付書類は30日以内に所属に提出してください。

管理担当より いわきの子どもの笑顔③のために力を貸してください

講師として勤務できる方をぜひご紹介ください！急募！！

～いわき市内の学校で、講師として勤務できる方を募集しています～
 市内の多くの学校で、講師が不足しており非常に困っています。
 ○ 親族、友人、近所の方、退職された方など多くの方へお声かけのご協力をお願いします。



しばらく教壇に立っていないのだけど…
 初めて教壇に立つので自信がないのだけど…
 教員免許を更新していないのだけど…
 毎日働くのは難しいのだけど… etc



<申込書類は下記QRコードから>



上記のような悩みがあっても、学校での勤務に向けて、
 お気軽に電話やご来庁の上、ご相談ください。
 連絡先:いわき教育事務所 管理担当 24-6216